

【平成17年度専修学校を活用した職業意識の啓発推進】

事業名	「しごとミュージアム」体験フェアと職業別講話ガイダンス		
学校法人名	社団法人沖縄県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 名城 政次郎	担当者・連絡先	新井 由夫 098-832-5166 info@okisenkaku.or.jp
<p><事業の概要></p> <p>高校生を中心とする若年者の職業意識の啓発と各分野の職業を体験学習する機会として「しごとミュージアム」体験フェアを開催した。体験フェアの内容は、森田健作氏を招き、「もう少し努力してみないか～青春を大切にしよう！～」と題して、職業観や自己のキャリア形成の方向性をしっかりと持って進路を決定することの重要性や、働くこと・仕事に就くことの意味・意義を認識し、夢や目標はどのようにしたら持てるようになるのかをテーマとした講演会を開催した。また、職業分野別にコーナーを設営し、各コーナーに個別の職業・職種別ブースを設け、参加者に職業の模擬体験や仕事の内容を体感させ、職業意識の涵養を図り、将来の職業選択の一助とする職業模擬体験学習を実施した。また、会場内に CBT 自己理解診断や職業適性検査コーナーを設け、キャリアカウンセラー及びEQ トレーナーを配置し、カウンセリングやコーチングを行った。</p> <p>職業別講話ガイダンスとしては、高等学校での総合学習やロングホームルームの時限を活用し、職業・職種別の仕事内容とそれぞれの職業・職種に就くための進路選択方法、資格の取得方法についての職業別講話や就職全般・職業意識啓発のための就職講話及びマナー講習を実施した。また、専門学校内においては、それぞれの専門分野・職業・職種別に学校を振り分け、高校生の希望に応じて専門学校にて職業体験や体験学習などを実施した。</p> <p><成果></p> <p>「しごとミュージアム」体験フェアは、1200名を超える参加者（主に高校生）を集め、34 専門学校で50以上の仕事についての模擬体験や仕事紹介パネルを通して、普段は漠然としている仕事（職業）について、聞いて、見て、体験して、仕事（職業）に対するイメージを具体化したり、今まで知らなかった職業や興味のない仕事に出合ったり、進路選択（職業選択）の幅が広がったように思えます。多数の仕事（職業）を体験することにより、自分の適性を知ることができ、新たな発見をする「場」を提供できたと考えます。</p> <p>また、職業別講話ガイダンスは、高校開催404講座、参加者総数8840名、専門学校開催25講座、参加者総数700名の高校生が受講しました。アンケートからは、概ね「大変良かった」という評価を受けました。</p>			